

令和5年度8月24日(木)音楽科公開セミナー(声楽)を実施

～♪ 佐藤珠実先生をお招きしました!!♪～

(声楽家・伴奏ピアニスト・人体構造学医学博士・音楽科卒業生)

♪初めに佐藤珠実先生にコンサートをしていただきました♪



～ プログラム ～

ヘンデル:Ombra mai fu

ボノンチーニ:Per la gloria adorarvi
(イタリア古典歌曲集より)

ジョルダーニ:Caro mio ben
(イタリア古典歌曲集より)

ヴェルディ:オペラ『アイダ』より、
“勝者よ、帰れ!”
(Piano 小笠原 歩里先生)

先生の歌を聴いて、歌い始めから空気がふるえて部屋全体が包み込まれるような感覚でした。最初から最後まで心に刻むような一言一言に響きがある歌声に引き込まれました。(生徒の感想より)

♪高校時代から現在までの歩みと博士号の研究についてお話していただきました♪

佐藤先生の講話から、いろいろなことに興味もち、様々なことに触れて、一度取り組んでみることで、自分にとってさらにプラスになったり新たに取り組む課題が見つかったりするのだと思いました。

人体構造学の研究の話はとても興味深く、普段音楽を学んでいる私たちには触れることのない話ばかりでした。そしてその研究が、佐藤先生の歌唱の魅力につながっているのだと感じました。

(生徒の感想より)



♪公開レッスン♪



～公開レッスン①～
白木 真衣(3年)
スキーラ:Sognai

～公開レッスン②～
塘本 莉子(3年)
ベッリーニ:

Per piet , bell 'idol mio

○公開レッスンでは、歌詞の意味・訳を知るだけでなく、分析して表現の仕方につなげることの大切さがよくわかりました。これからは歌詞の意味、単語を理解して、1つのフレーズの中でどの音に向かって歌うのかをよく考えることを練習に取り組む前に必ず研究しようと思いました(生徒の感想より)



○私は普段のレッスンから声帯の使い方、動かし方がなかなか理解できずにいました。今回のレッスンでもすべては理解できなかったのですが、先生が研究されたような解剖学など、音楽とは全く違う分野のことから声楽の理解を深められたらとても楽しいだろうなと思いました。(生徒の感想より)

○“歌は感情で歌わない”という言葉が印象に残りました。今までは歌う曲の感情を込めることが音楽的な表現だと思っていました。しかしそれは間違いで、人々を感動させる感情のあふれた音楽というのは、根拠があり、テクニックがあり、音楽家が頭で考えた上にある音楽だったのだなと気づきました。人が聴いて悲しいと思う声、愛しいと思う声、楽しいと思う声…それらをもっともっと研究して曲に落とし込めるように音楽と向き合っていきたいと思います(生徒の感想より)

♪ 最後に音楽科の生徒からのたくさんの質問に答えいただきました。佐藤珠実先生ありがとうございました ♪